



## 市民施設見学会が終了しました



平成27年9月29日（水）にふらの市民環境会議と富良野市主催の環境関連施設見学会が開催され、ふらの市民環境会議の会員5名と市民14名の方が参加されました。

今回の市民施設見学会は、昭和20年後半、無電灯地帯解消のために地域住民によってつくられた後、現在も地域住民の手により維持管理され、稼働を続けている帯広市の川西発電所を見学させていただき、改めて普段の生活とエネルギーについて見つめ直す機会となりました。

### 川西発電所見学の様子



水圧鉄管への水量を安定化する水槽とオーバーフロー水路

発電所を所管している帯広市川西農業協同組合の方から、地域に発電所が作られるまでの経過や歴史、施設概要について説明を受けた後、実際に発電所の管理を行っている方と施設を見学しながら、維持管理にあたっての知識や技術、苦労している点などのお話を伺いました。



除塵スクリーンから  
枯葉を手作業で掃除をする様子

当日お話を伺った管理人の方は、送電が始まった当初、川西地区に在住しており、「送電前はランプしかなかったので、電球が灯った時はとても明るく感じた。」と当時の様子を振り返り、お話しをさせていただきました。

施設の維持管理は、1週間ずつ3人交代で、発電所敷地内の管理用住宅に泊まり込みながら24時間施設を見守り、秋の枯葉が多い時期は1～2時間おきに除塵スクリーンの掃除、冬期は朝方に氷割りを行っているとのことでした。



発電所建屋の内部の様子